



春日井ロータリークラブ 2011～2012年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

仲間を増やし、 思いやりの心を育もう

会長：風岡 保広 例会日：金曜日 12:30～13:30
副会長：清水 勲 例会場：ホテルプラザ勝川
幹事：北 健司 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
会報委員長：志水ひろみ TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



東京都議会議長賞

東京朝顔研究会

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| | 司会 | 加藤久仁明君 |
| ・点鐘 | | 風岡 保広君 |
| ・ROTARY SONG | 「日も風も星も」 | |
| ・今月の歌 | 「茶摘」 | |
| ・ビジター紹介 | | 風岡 保広君 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 風岡 保広君 |
| ・ロータリーの森例会 | | |
| ・幹事報告 | | 北 健司君 |
| ・点鐘 | | 風岡 保広君 |

今月の歌

茶摘
夏も近づく 八十八夜
野にも山にも 若葉が茂る
あれに見えるは 茶摘じゃないか
あかねだすきに 菅の傘

先週の記録

幹事報告 幹事 北 健司君

地区ロータリー研究会開催の案内
日時：6月5日(火) 15:30～
会場：名古屋国際ホテル
出席予定者：次期職業奉仕委員長 近藤太門君
蓮野美廣君のお母上の葬儀
お通夜：5月18日(金) 19:00より
告別式：5月19日(土) 13時30分より
会場：多治見市光が丘 セレモ双葉玄武ホール
3RC 現次期合同理事会
日時：5月21日(月) 18:00より
場所：キャッスルプラザホテル
出席予定者：現次期の理事・役員

2012年5月25日(金)第2093回(5月第3例会)

例会変更のお知らせ

あ	ま	6月11日(月) 6月11日(月)
RC		夜間例会の為
名古屋守山		6月6日(水) 6月8日(金) 10:00
RC		補助金事業の為知多いなば農園
尾張中央		6月6日(水) 6月6日(水) 12:30
RC		例会場都合の為 商工会館
豊田中		6月1日(金) 5月30日(木) 8:30
RC		ゴミゼロ運動の為豊田市駅周辺

出席報告

委員長 蓮野 美廣君

会員 52名	欠席 16名	出席率 80.0%
先々週の修正出席		

ニコボックス報告

委員長 中川 健君

家内の誕生の祝福をうけて。 小島 啓治君
祝福有難う御座います。5月22日(火)メーテ
レドデスカで6:30頃ドームのお弁当の件でテレ
ビに映る予定です。 成瀬 浩康君
家内の誕生の祝福有難う御座います。
屋嘉比良夫君
祝福の皆さんおめでとう御座います。
風岡 保広君
誕生祝福有難う御座います。 太田 弘道君
結婚祝福有難う御座います。卓話させて頂きま
すので宜しくお願いします。 高橋 理江君
太田君いつもお世話をかけています。ありがと
う。 近藤 太門君
家内の優しさに感謝します。 山田 治君
5月19日20日第48回春日井バラ展を植物園
にて開催します。 北 健司君

出席奨励月間

例会予定	6月1日(金) 理事役員会 11:30～ 卓話 ホテルプラザ勝川 大鹿 裕司氏	6月8日(金) 祝福 卓話 大橋 完一君 卓話 中川 健君	6月15日(金) 卓話	6月22日(金) IDM ヒルトン名古屋 17時30受付 18時例会
------	--	--	----------------	---

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

お久し振りです。 小川 長君
卓話を聞ける喜びで。 峠 テル子君
野浪 正毅君 加藤 宗生君 長谷川英輝君
清水 勲君 杉山 孝明君 林 鑛三君
塚本 兼光君 加知 康之君 社本 太郎君
和田 了司君 志水ひろみ君 岡田 義邦君
加藤 茂君 梅田 英夫君 足立 治夫君
貴田 永克君 伊藤 一裕君 宅間 秀順君

卓話 小島 啓治君

家内の祝福を受けて

本日は、家内の誕生日の祝福を受けありがとうございました。プログラム委員長からのご依頼により卓話をお引き受けしました。家内は5月22日で満69才になります。最近「大分おばあさんになったなあ」とみております。が、今のところ元気で安心しています。むしろ、私の方が6月で満72才になるが、今年の8月から心身ともに少々おかしくなりました。おかしくなったというのは、目眩がしばしば起こり、唇がしびれたり、身体がふわふわして何かにつかまっていなくて倒れそうになることもあったから。脳や首のMRI検査、癌検査、血液検査等、いろいろ検査したが、結果的にはどこも悪くなく、原因がはっきりしていない状況。ストレスが溜まって鬱になっているか、自律神経失調症ではないかと自分では想像しておりましたが、お医者さんから、精神的なものではないかと言われ、検査も終わりにしました。

今年になって回復している気はしております。程度の差こそあれ、日本人成人の七人に一人は鬱病にかかっているそうだから、早くその七人に一人から抜け出したいと願っているところです。そんなことがあって、お酒を控え、女子のことも忘れてしまった。とは言っても、未練は残ります。ただ、たばこだけはやめる気になって3ヶ月禁煙したが、未だに喫煙しています。

さて、変な話ですが、この年になると、いつの間にか晩年が近付いてきたもんだと切実に感じるようになった。つい先日も、飲み友達の仲間が消え去りました。この10年間を振り返っても、ひとりまたひとりと友人、知人が亡くなっていくことの寂しさは、なんとも言えない。早い遅いの違いがあるだけで、いずれ私も足を踏み入れることになるだろうと覚悟はしておりますが。

先日、ある冊子の中で、死を間近に控えた人々が口にした後悔ということについて書かれていました。死を前にしても人は後悔することがあるらしい。どんなことを後悔するかということに関心があったので、皆さまにもご紹介したいと思います。

1、「自分自身に忠実に生きれば良かった。他人に望まれるようではなく自分らしく生きれば良かった」という後悔。要するに、若くて元気な時には、自分ではあれやこれやしたいことがいっぱいあったが、自分の意志薄弱の精か、社会環境、生活環境の精か、事

情があって、自分の思うようには進めなかったことを後悔するものらしい。もっと自分らしく、自分に忠実に生きてくれば、もっとよい人生があったと最後に悔やむということです。

2、「あんなに一生涯懸命働かなくても良かった」という後悔。自分は、若い時は仕事に夢中で昼夜も厭わず働いてきたものだが、それには犠牲者がいることに気が付くのが遅かったというわけです。特に、もっと家族と一緒に過ごす時間を多く持つべきであったと悔やむというものらしい。

3、「もっと自分の気持ちを表す勇気を持てば良かった」という後悔。控え目で自分を殺して相手の気持ちを思いやった生き方をしてきたが故に、自分としては、不本意であり、生き甲斐とはならず、自分の存在価値も薄めてきたもんだと後悔することです。しかし、却って、可もなく不可もなく生きて来られたわけだからいいようなものだが、死の直前ともなれば、もっと自分を表に出して満足できる生き方をしてくれば良かったと悔やむというものです。

4、「友人関係を続けていれば良かった」という後悔。死が近づくにつれてかつての友人達を思い出して悔やむことがあるらしい。友人のありがたさがわかるのは、晩年が近づいた時。昔は、いろいろな友人がいたが、連絡が途絶え、つきあいもなくなってしまって、寂しい気持ちにさせられる。ずっと引き続いて、友人関係を大切にしておくべきだったと後悔するものらしい。

5、「自分をもっと幸せにしてあげれば良かった」という後悔。ちょっと意味不明だが、死を目前にしても幸福感に満たされなかったことを意味するものと想像します。要するに、幸福自体は自分で選択し、自分で築くものであって、幸福は天から降ってくるものではないということを承知していれば、こんなことで後悔することもなかったらうにという気がします。元気なうちは、どなたにも、未来のことをああすればよい、こうなったらよいという希望があります。その未来の希望が断たれた時、過去にしてきたことが悔やまれるというわけです。真の幸福者は、死を直前にして、こうした後悔や不安がなくなった者をいうらしい。そして、最後には、「生きられたこと」「出会った人々」にありがとうという感謝の気持ちを抱くことができれば、人として本望ではないかと思えます。

以上、ロ-タリ-とは無関係な話をしましたが、私自身、春日井ロ-タリ-クラブに入会させていただいて早や27年目になり、否応なくロ-タリ-にはまってしまったわけだが、友人関係を大切に、ロ-タリ-行事には積極的に参加してきたつもりですが、ともしれば、引込み思案で、自分自身をあまり出さず、いい加減な考えや行動でふらふらしてきたもんだと悔いております。自身の職業においても同じことが言えそうです。

この先の残された寿命、時間をいかに後悔しないように生きていくことができるかが挑戦課題となってまい

りました。「後悔するに遅過ぎることはない」と改めて自覚した次第です。

拙い卓話ではありますが、卓話の時間をいただいたお陰で、自分を励まし、自分らしく、勇気を持って進んでいくことが楽しみになってまいりました。以上、これにて終わります。

卓話

高橋 理江君

本日は、結婚記念を祝っていただきまして、ありがとうございます。今年で結婚生活30年を迎えます。何とか平穏に過ごしてまいりました。ただ、ここ4年間は母の介護があり週末にのみ自宅へ帰るといった生活です。お蔭さまで母も穏やかに過ごしており、主人には大変感謝しております。私が主人と出会ったのは昭和51年の1月2日のことでした。共通の友人たちと新年会をやるということで出会いました。最初に主人は別の女性が好きだったそうですが、その娘には別に好きな人がおり諦めたそうです。私も、別に好きな人がおりましたが、振られちゃいました。その後3か月ぐらいが経ち、また新年会と同じメンバーでディスコへ行くことになりました。それがきっかけとなり付き合いが始まりました。そして、6年間付き合い結婚しました。結婚の翌年の記念日には25年間の印があるローソクの塔を燃やしました。1年のラインまで燃やすのにあまりにも時間がかかったので、翌年からは燃やすことを止めてしまいました。おかげで結婚記念日は1周年だけ祝いました。それ以降、結婚記念日は毎年過ぎ去った頃に思い出す。といった状況でした。しかし、一度だけ、私の会社の後輩が結婚5周年の花束を持ってやって来たことがありました。本人の私が忘れていたのに本当にびっくりしました。その彼は週末、よく我が家へ遊びに来ていたので覚えていたそうです。こんな調子ですから25周年の銀婚式も祝っておりません。ロータリーに入会し、初めて今年で何年経ったのか数えてみました。なんと30年も経っております。数えるきっかけを与えていただきまして、本当にありがとうございました。30年は真珠婚式だそうです。これを機にお祝いでもしよかと思っています。

話は変わりますが、今年の夏季の電力需給見通しについてです。みなさま方にご協力いただいている節電や上越火力発電所の営業運転開始、さらに火力発電所の定期点検の繰り延べなどで供給力を確保しています。しかし現在、国において全国の電力需給見通しについての検討が行われております。西日本で電力が不足されと予想が出ているため、余裕のある電力間で融通をするようにと検討されています。5%の節電が新聞等で騒がれています。国の検討結果が出され、正式に国から要請があった段階で当社から発表いたします。内容をお知らせいただける機会を与えていただければご

報告とお願いをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。また、現在停止中の浜岡原子力発電所ですが、安全性をより一層高めるために、現在18mの防波壁の設置をしております。しかし、みなさま既にご承知のように内閣府の中間報告から津波の高さが21mと報告されました。津波が超え敷地内が浸水しても、確実に冷温停止に導くことができると考えております。設置予定の防波壁は津波から受ける力に耐えられる設計となっており、また、敷地内への浸水量を抑制し、水位を低減する効果があります。さらに、浸水防止策により建屋への浸水も防ぎます。そして、緊急時対策の強化により原子炉を冷やし続けるための幾重もの代替措置も備えています。ハード面での対策や国・自治体との連携した防災対策の強化などソフト面での対策にも全力で取り組んでいます。こうした取り組みを通じて原子力発電の安心・安全をみなさまに理解していただきたいと考えております。よろしくお願いたします。



(祝福 会員誕生)



(卓話 小島 啓治君)



(卓話 高橋 理江君)